伊豆市立修善寺南小学校　学校だより　第１８号　　令和5年2月1日発行

南っ子だより

学校教育目標　「共に輝く　たくましい　南っ子」
重点目標　　「あふれる笑顔　熱い瞳　まぶしい汗」

文責　森　佐和子
伊豆市柏久保425-1
0558-72-0149

南っ子発表会
～輝いた南っ子たち～

１／28、南っ子委員会によるオープニングで始まった令和5年の南っ子発表会。子供たちは、それぞれが輝ける場所で思いっきり表現しました。1年間の学習の成果を各学年とも発表できたステージでした。

感染症対策により、人数制限のある中でしたが、多くの保護者の方々からたくさんの温かな拍手をいただき子供たちも大満足な様子でした。

また、低学年の子供たちはかっこいい高学年の姿に憧れをもつ場面もたくさんあったと思います。体育館はとてもとてもとても寒かったけれど・・・心はとてもぽかぽか温まるすてきな発表会となりました。保護者の皆様ありがとうございました。

ジブリ映画を思い出させるような明るく爽やかでリズミカルな音色で魅了した3・4組の合奏「はとと少年」、それぞれのソロも完璧、全員の気持ちを一つに合わせる場面もぴったり。堂々たる演奏に拍手喝采！

野菜の成長記録は、分かりやすい説明で、これまで大切に野菜を育ててきた思が伝わるプレゼンでした。

3年生は「わさび、しいたけ、狩野川、修善寺の学習発表」。地元にいながらも伊豆の魅力や歴史で知らないことがいっぱいの私たちに分かりやすく、アクションやクイズを駆使しして発表しました。狩野川台風の場面では、タイムスリップした設定で、工夫を凝らし、聞き手を引き込むとても躍動感ある発表となりました。

福祉に光りをあて学習をしてきた4年生は「車いす体験、手話、ユニバーサルデザイン紹介」についての発表でした。「福祉とはみんなの幸せ」・・・4年生が私たちに伝えたかったことですよね。発表を聞いて、改めて社会の一員として「福祉」を考えるきっかけになりました。貴重な体験から学んだことを生き生きと発表していました。

写真からも伝わってくる1年生のエネルギー!初めての南っ子発表会とは思えないくらいの堂々たる姿を見せてくれました。「音読・縄跳び・合奏」と盛りだくさんの内容にも関わらず、どれも練習の成果をばっちり出せたのではないでしょうか。始まる前は「緊張するよー」と言いながらどきどきしていた様子でしたが、本当に立派な姿でした。

日本昔話の名作「かさこじぞう」を熱演したのは、2年生。なんと表情豊かなのでしょう。お話の世界に引き込まれていきました。一人一人が役になりきることができたのは、国語の授業でしっかりと内容を理解していたからだと思います。まさしく学習の成果ですね。手作りのお飾りや傘もとてもすてきでした。

「SDGsって何だろう」そう言われて何て答えるか・・・ちょっぴり不安でしたが、5年生が要点をまとめて発表してくれたことで、みなさんも「SDGs」がぐっと身近になったのではないでしょうか。日本だけでなく、世界中が取り組んでいることです。いつまでもこの地球が、地球上の命あるものが永遠に続きますように、そんな思になりました。

南っ子発表会、最後を飾ったのは我らが6年生。「源氏ゆかりの地　我が修善寺を未来へ　つなげていこう」をテーマに、歴史を紐解きながら、時にコミカルに・・・でもリアリティある演技で楽しませてくれました。よく見ると小道具も凝っています。 自分たちが1年間学んできたことをつなぎ、まとめ、発表という形にできる6年生パワーに圧倒されました。